

「れんらくきよつぎかいとは？」

編集部

交流・学習を礎に

学童保育連絡協議会

ここでは「学童保育連絡協議会」について、その役割と、実際に取り組みを進める際に、私たちが大切にしていることを紹介します。

学童保育を発展させる原動力は、一人ひとりの「保護者の子どもへの願い」「学童保育への願い」「指導員の実践」そして、「保護者と指導員が力をあわせて共につくる保護者会・父母会」です。「学童保育連絡協議会」（以下、連絡協議会）は、この原動力をもとに、一人ひとりの保護者や指導員の願いや思いを束ね、交流・学習・研究を通じて、

その地域と全国各地の学童保育をよりよいものへ発展させるための取り組みを進める組織です。

名前が示すとおり、情報交換や交流・連絡を通じて、「学童保育運動がこれまで培ってきたこと」や「国や自治体の施策」を学習し、それらをふまえて合意を形成し、課題解決の手立てを共に考え、学童保育を発展させていく役割を担っています。

「学童保育の会」「放課後児童クラブ連絡会」などの名称が使われている地域もありますが、基本的な目的と役割は同じです。以下、「市区町村」「都道府県」「全国」の連絡協議会について説明します。



市区町村の学童保育連絡協議会

市区町村の連絡協議会は、「ほかの学童保育や保護者会・父母会はどのように運営しているのか知りたい」「情報交換や交流を図りたい」という保護者・指導員の思いや願いと、それぞれの学童保育や保護者会・父母会が持つ

つぎは本誌をくらんどさい

